

# Rainbow Times

## 平成 26 年度：合同研修のご案内

### ◆地域虐待対応合同研修（7月・10月）

毎年、地域に出向いて開催しています。対象は、市区町村の虐待対応部署や児童相談所をはじめ、要保護児童対策地域協議会の構成機関です。アセスメントや要対協の強化など、虐待対応の基本的なことをおさえます。7月に山形県、10月に滋賀県で開催です！

児童虐待対応・子どもや家族への支援に多機関協働は欠かせません。虹センターでは、協働がよりスムーズにいくことを目的に、様々な合同研修を開催しています。ここでは、合同研修の一部をご紹介します！

### ◆児童福祉施設指導者合同研修（12月）

乳児院・児童養護施設・情緒障害児短期治療施設・児童自立支援施設・母子生活支援施設など、児童福祉施設職員が集まる研修です。社会的養護の中で育っていく子どもたちの人生をどう紡いでいくのか、「子どもの人生をつなぐ支援」について考えるシンポジウムやグループ討議を盛り込んだプログラムとなっています。

### ◆教育機関・児童相談所職員合同研修（8月）

特に学齢期以降の虐待対応・支援において、教育機関と児童相談所との連携・協働がますます求められています。講義やシンポジウム、グループ討議等を通してお互いの役割を認識し、垣根を越えて子どもたちのためにできることを考える機会としたいと考えています。

### ◆児童相談所・児童福祉施設職員合同研修（1月）

子どもの入所から退所、そして退所後の援助まで、児童相談所と児童福祉施設の連携は欠かせません。知っているようで知らないお互いの現状や課題を理解することで、よりよい協働につながる研修としたいと考えています。講義、グループ討議、事例検討と盛りだくさんです！



### 専門職連携教育（Inter-professional Education: IPE）

多分野・多職種連携にむけて：国際的動向

日本でも、児童虐待対応や子どもや家族への支援において、要保護児童対策地域協議会の設置をはじめ、地域の機関連携が重要とされています。しかし、要対協の役割や運営、そして実際に連携するとなると、様々な課題があることはみなさんも実感されていると思います。

さて、国際的にはどうでしょう。WHO では 1978 年より専門職連携教育（IPE）について議題にあげており、決して新しい話題ではありません。1988 年には報告書を、2010 年にはガイドライン“Framework for Action on Interprofessional Education”を出しています。

WHO (2010) が IPE を受けた 42 ヶ国 396 名に行った調査によると、受講者の 16.0% が看護師、10.2% が医師、9.3% はソーシャルワーカー、5.9% は心理士でした。IPE の推進は、医療関係のみならず、その範囲は福祉領域にも広がっていることが分かります。

IPE を受講した効果として、チームワークの大切さだけでなく、受講者自身の専門職の役割とチーム内での役割、そして他職種に対する理解の深まりや肯定的な態度変容が挙げられています。

英国や米国では、学生時代からの連携教育は当然のこととして取り組まれています。英国では政府の取り組みとして行われ、予算も確保されています。また、米国では卒業後のトレーニングプログラムが充実していることが特徴的です。

虹センターでも上段のように合同研修に力を入れています。研修では、実際の支援に関する知見を得るだけでなく、連携がよりスムーズにいくための方策を考えるプログラムを取り入れています。

協働や連携の必要に迫られてからの理解ではなく、専門家としての教育の一環として IPE に取り組むことで、要対協をはじめとした機関協働・チームワークがよりスムーズに展開され、そして発展していくのではないかと思います。（山邊）

### 「子供たちを児童虐待から守るために —養護教諭のための児童虐待対応マニュアル—」

本書は、平成 19 年に文部科学省から発行された「養護教諭のための児童虐待対応の手引き」をもとに、公益財団法人日本学校保健会より発行されたマニュアルです（H26. 3）。虐待の理解や気づきはもちろん、虐待を受けた子どもへの支援や、虐待予防のために学校でできること等が詳しく述べられています。また、養護教諭の資質向上のための研修の具体例も示されています。ぜひご覧ください。  
<http://www.gakkohoken.jp/modules/books/index.php?fc t=photo&p=154>



### ★ISPCAN・JaSPCAN 子ども虐待防止世界会議 名古屋 2014★

☆テーマ：子ども中心の社会に向けて  
過去から学び、未来に向けて行動しよう  
☆会期：2014 年 9 月 14～17 日  
☆会場：名古屋国際会議場  
☆3/1 より参加登録が始まっています。  
早期申込（～5/31）がお得です！  
☆HP をチェック！  
<http://www.ispcancongress2014.org/>



◆H26 年度の全研修プログラム概要（冊子）HP アップ！  
◆各研修の実施要項ダウンロード・申込はHP より  
情報発信の配信先アドレスの変更・配信停止等は [guest-1@crc-japan.net](mailto:guest-1@crc-japan.net) までご連絡ください。